

うきこと鷹よつとある詞と此世の中は男をわさうきとせ
世とあげさあるうきとていふととちと假字ハるがへれど
此卿の比は事あれば通りと用ひ給へる本べー

とひ人やゆとまー今つとひむ母さうひとる鷹のけりさ

ととらうた鷹の足草うつとと附る猪や足草ハ楯緒ハ
かー本さうとゆとけ大猪とつとあるものやとく鷹匠はあつさ
うける鷹中をさうとくゆぬ用意はつとるものやおもさうひハ面
嫌やけりさう古謡よけーととさうとつとくさるる本べー

と君侯云又けーとさハ敬と敷又嶮岨らーとさうやともゆへんど
怪くーとれらうと是則と名とせせば鷺鳴のゆとくたは異^{コト}ある